

令和2年度新燃料搬出計画書等の提出について

R 2 . 3 . 31
原子力安全対策推進監
(内線 2352)

1 本日、四国電力(株)から、次のとおり、安全協定に基づく令和2年度新燃料搬出計画書の提出及び令和元年度の輸送実績報告がありました。

なお、令和2年度における放射性固体廃棄物及び使用済燃料の輸送計画はありません。

(1) 令和2年度新燃料搬出計画（1号機廃止措置に伴うもの）

搬出数量	1号機 新燃料集合体 42体（輸送容器 21個）
回数及び時期	1回（令和2年10月～12月）
輸送方法	伊方発電所専用岸壁から海上輸送する。
搬出先施設名	米国フラマトム社 リッチランド成型加工工場 (米国ワシントン州リッチランド)

※ 伊方発電所1号機の廃止措置計画に基づき、保管中の未使用燃料を施設外に搬出するとともに、原料にリサイクルするため、工場がある米国まで輸送するもの。

(2) 令和元年度輸送実績

ア 放射性固体廃棄物

数 量	354本（輸送容器 45個）
完了日	令和元年7月1日（月）※
搬出先施設名	日本原燃（株）低レベル放射性廃棄物埋設センター (青森県上北郡六ヶ所村)

※ 日本原燃（株）低レベル放射性廃棄物埋設センターへの搬入完了日

イ 使用済燃料 輸送実績なし

ウ 新燃料 輸送実績なし

2 県としては、伊方原子力発電所環境安全管理委員会原子力安全専門部会において、新燃料搬出に係る安全対策を事前に確認するとともに、伊方発電所からの搬出日には職員が立会いし、作業の安全実施を確認することとしています。